

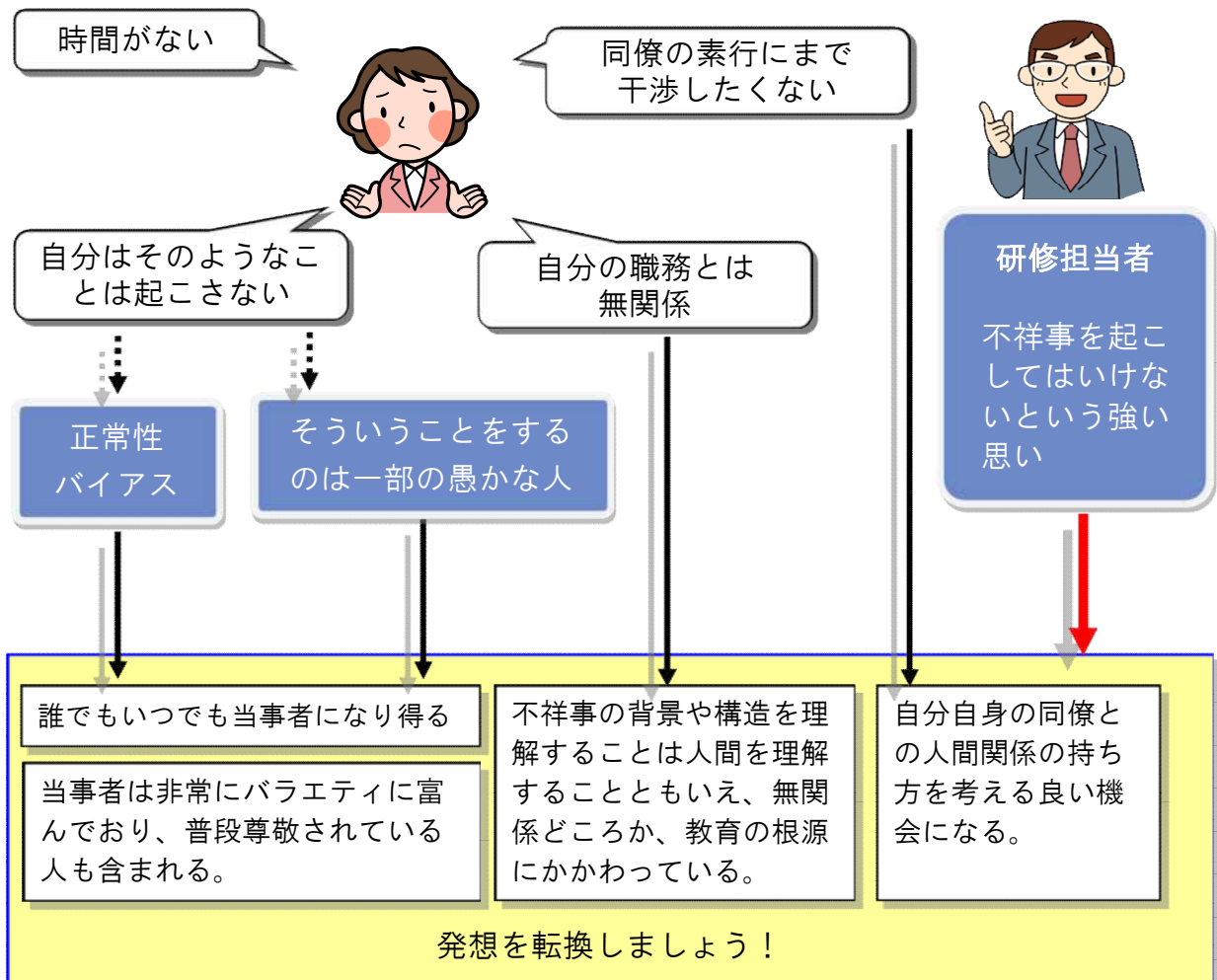
不祥事防止研修の新たな視点 ～不祥事防止研修に入る前に～

県教育委員会では本年度早々に、5名もの教員が逮捕され、学校や教育行政に対する信頼を著しく損ねたことについて、深刻に受け止めています。

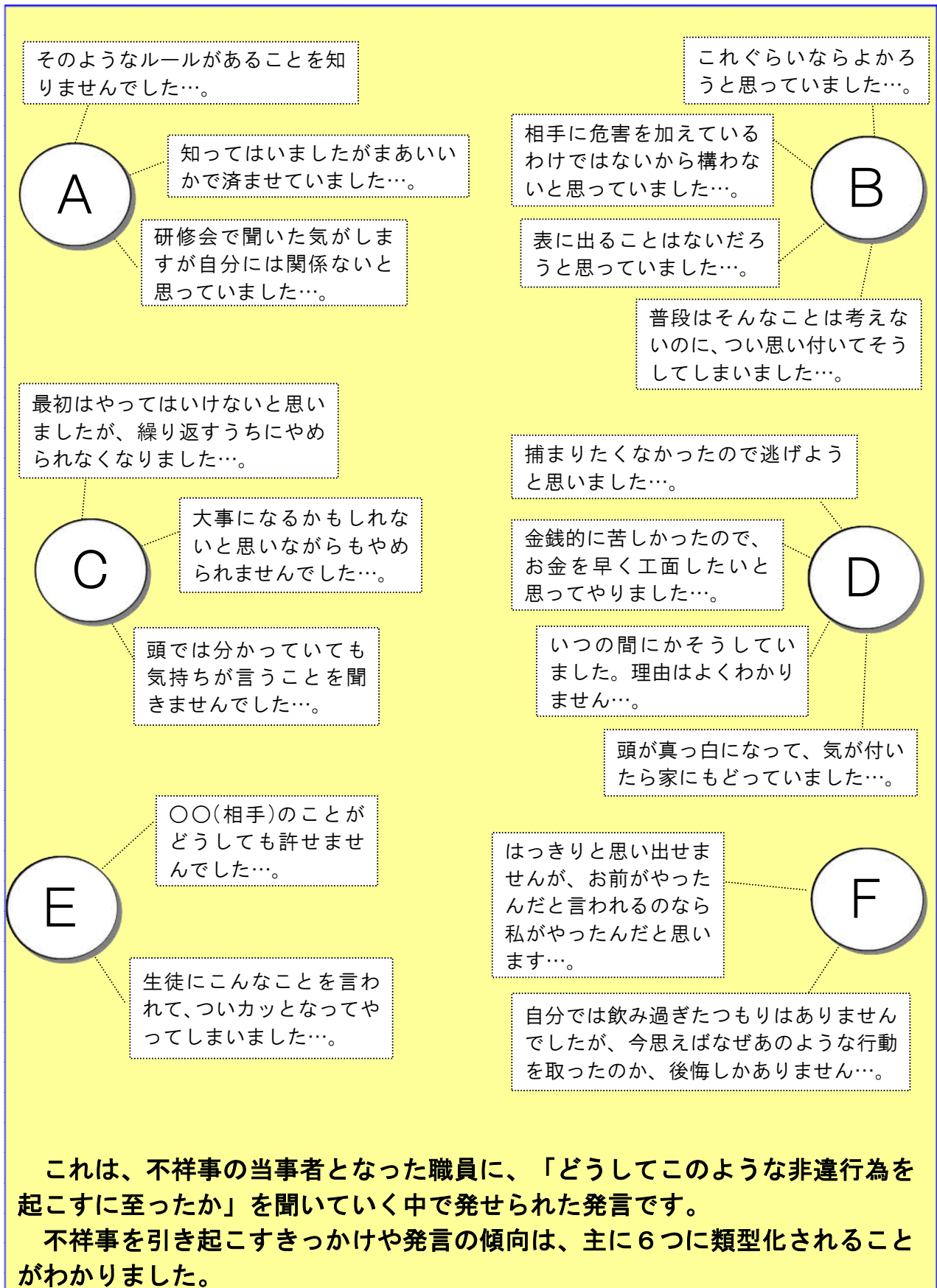
そのため、緊急的な取組として不祥事を他人事にしないよう、各学校において小グループでの話し合いを実施し、先生方の御意見、専門家の知見を参考として、今後の不祥事防止研修に新たな視点を取り入れていくこととしました。

今後、各学校で行われる不祥事防止研修を行うに当たっては、今回提案する内容に触れた上で取り組んでいただくようお願いします。

○ 不祥事防止研修の難しさの構図



○ 当事者となった職員の発言から見る不祥事の種類



不祥事の原因別分類（不祥事を引き起こす原因や傾向を分析）

類型	発言のキーワード	型の名称
A	自分には関係ないと思った・・・ 知らなかった・・・	→ 学習不足型
B	これぐらいならよいと思った・・・ 相手に危害はないと思った・・・	→ 自己中心型（自分特別視型）
C	やめられませんでした・・・ 気持ちが言うことを聞きませんでした・・・	→ 依存症型
D	理由はよくわかりません・・・ 頭が真っ白になって気がいたら・・・	→ 合理化型（その場しのぎ型、やぶれかぶれ型、パニック型）
E	どうしても許せなくなって・・・ 生徒の態度についかつとなって・・・	→ 衝動型（短絡型）
F	はっきり思い出せません・・・ 今思えば後悔しかありません・・・	→ 飲酒・習慣的飲酒の影響型

○ 不祥事の事案と類型の関係

A～Fの類型にあたる職員は、どのような不祥事を起こす可能性があるのかを確認します

A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事務処理の遅滞、書類紛失 ・ わいせつ事案（生徒指導やネット上の事案に関する知識・経験不足） ・ 飲酒運転・飲酒トラブル（アルコールに関する知識・注意不足） ・ 交通事故（道交法等に関する知識不足） ・ USB紛失等による情報漏えい（セキュリティポリシー等への理解・注意不足） 		
B	<ul style="list-style-type: none"> ・ わいせつ事案 のぞき・盗撮 ・ 同僚、児童生徒、保護者等に対するセクハラ ・ 体罰（戦略的） ・ 交通違反や交通違反に端を発する事故 ・ USB紛失等による情報漏えい 	C	<ul style="list-style-type: none"> ・ 性犯罪・性暴力 ・ 薬物事犯 ・ 飲酒運転 ・ 窃盗・横領 ・ ストーカー
D	<ul style="list-style-type: none"> ・ 暴力事件（過剰防衛） ・ 手段を選ばない逃亡（事故のあと逃走 等） ・ 窃盗・横領（経済的困窮によるもの） ・ 中傷情報の拡散 		
E	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体罰 ・ 暴力事件 ・ 中傷情報の拡散 	F	<ul style="list-style-type: none"> ・ 酒に酔ってのセクハラ、わいせつな行為 ・ 暴力事件等 ・ 飲酒運転

○ 振り返り

Q 1 自分に関係してしまう可能性がありそうな不祥事案はありましたか？
※全ての職員を類型に当てはめようとする趣旨ではありません。あくまで可能性があるのであればという捉えで答えて下さい。

ない

ある（→それはどのような事案でしたか？）

Q 2 「不祥事の原因別分類」の中で自分の性格や特性を踏まえ、近いものはありましたか？
※性格や特性を類型に当てはめようとする趣旨ではありません。あくまで可能性があるのであればという捉えで答えて下さい。

ない（→なぜそう考えましたか？）

ある（→どんなタイプでしたか、なぜそう考えましたか？）

Q 3 自分が当事者とならないために、自分の性格や特性に鑑みてどのような点に気を付けていこうと思えますか？

Q 4 自分の所属から、不祥事を起こさないために同僚に対してどのようにアプローチしていく方法が考えられますか？

Q 5 今回の研修を通して何か気付きなどがありましたか？

様々な場面（校務、生徒指導、家庭生活等）で似たような発言や考え方をしているか等、各自で振り返りましょう。その上で小グループでの意見交換や共有を行うことで、より深い事案の受け止めにつながります。

各学校の実状に応じて、グループワークを効果的に実施し、組織として不祥事根絶の機運を維持していくことが大切です。